

育ちと学びをつなげる

# 竹原市の幼保小連携

## つながる子供



計画的に互恵性のある交流活動を実施



小学校で  
また会おう  
ね!

- 交流のポイント
- 交流を通して、どのような力を育みたいか等、事前にねらいを共有し、内容を工夫する。
  - 教諭同士も役割分担をして協働する。
  - 振り返りを共有し、次年度以降の活動につなげる。
  - 子供も教員も楽しんで!

(保育者より)  
交流後に、「こうやって教えてもらったよ。」など小学校への興味や具体的なイメージをもったり、実際に真似て遊びを工夫してみたりする姿が見られました。

## つながるカリキュラム



園と学校、それぞれのカリキュラムをつき合わせて改善を図る

- 「共通の視点」でカリキュラムを見直しましょう!
- 期待する子供の姿
  - 遊びや学びのプロセスをどのように深めていくか
  - 園の活動と小学校の教育内容・活動をどのようにつなげていくか
  - 指導上の配慮事項(人・こと・もの環境構成)
  - 年間の活動に交流をどのように位置づけるか
  - 家庭や地域との連携

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版) 文部科学省

## つながる教師

- 参観の視点
- 10の姿に関わる子供の様子
  - 期待する子供の姿につながる環境構成と教師や保育者の支援・援助等



小学校教諭による保育参観、保育教諭による授業参観を実施



10の姿を手掛かりに、参観をした子供の様子について語り合う

(保育者より)  
参観や交流を通し、子供たちの小学校での姿をイメージしてみたり、保育の活動の中で、これは何につながるのかな?と考えてみたりする事が多くなりました。

## つながる保護者



10の姿の木  
(掲示物)

園だよりで、子供の育ちと学校生活とのかかわりについて伝え、保護者も見通しをもてるようにする

保育で見られた子供の姿が、どのような学びにつながっているのかについて10の姿で整理して掲示し、保護者と共に子供の育ちについて語り合う

(保護者より)  
これまで、遊びを生活の中心として過ごしてきた1年生にとって、授業の前に思い切り遊ぶことで十分に発散し、それが集中力にもつながるし、とても良い取組だと思いました。自分たちで遊びを工夫できる環境もとても良いと思いました。



スタートカリキュラム通信を発行し、園で身に付けた力を発揮し、安心して学校生活を送る様子を保護者に伝える

# たけはら かけはしプログラム



## 自己 発揮

## 安心

## わくわく



幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。  
 幼児期は遊びを通して小学校以降の学習の芽生えを培う時期であり、小学校においてはその芽生えを更に伸ばしていく必要があります。

竹原市では、全てのこども園が「アプローチカリキュラム」、全ての小学校・義務教育学校が「スタートカリキュラム」に取り組み、全ての子供のよりよい成長を願って「たけはらかけはしプログラム」を推進します。





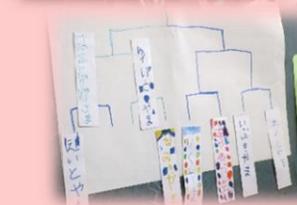
動植物に触れたり、栽培活動をしたりすることを通して、動植物への愛着や、命あるものを大切にすることが育まれます。小学校以降の生活や学習における、自然の事物や現象への関心や理解につながっていきます。



身体を動かして遊ぶ楽しさ・心地よさを十分に味わうことは、小学校以降、運動遊びや休憩時間などに、周りの友達と一緒に体を動かして遊び、のびのびと行動することにつながります。



## 身近な人・もの・ことと関わる



小学校との連携による互恵性のある交流により、園児たちは小学校生活への見通しや憧れをもつことができます。これらの気持ちを育むことは、新生活への安心感や希望につながるだけでなく、日々の自分たちの遊びをさらに工夫することにつながります。



この時期に育まれた協同性は、小学校における集団生活の中で、先生や友達と協力して学び合ったり、生活をよりよく工夫したりすることにつながります。



遊びや生活の中で言葉を通じたやり取りをする中で、話したり、聞いたりすることの楽しさを味わい、言葉への感覚や文字への関心を高めます。

### アプローチカリキュラム活動案



## 入学当初なかよしタイム



登校後から1時間目を弾力的に扱い、園で親しんだ遊びや仲間づくり活動を通し、安心感を育む

### スタートカリキュラム活動案



ペアやグループ等親しみやすい形態を工夫し、楽しみながら言葉や数に親しむ

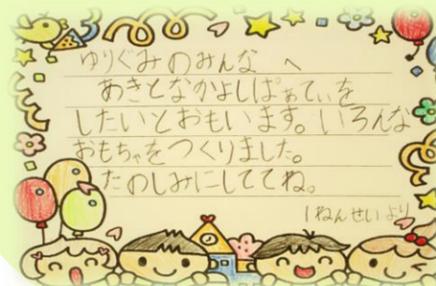
### 保育参観での学びを生かす

入	声掛けや支援
も	・学習形態
こ	・道具類の配置
こ	・時間割の柔軟性
と	・カリキュラム・マネジメント

## 園との交流



「こうしたらうまくできそう」「ルールはどうする？」園との交流に必要なこと・ものを考え、仲間と協力して試行錯誤する



「こうやってやるよ!」「じょうず!」「大成功~!!」活動を通して、また次の「〇〇したい!」という思いや願いが生まれ、次なる探究につながる

## 生活科を中心とした探究



「もっと〇〇を知りたい!」児童の思いや願いを起点に学校探検へ→児童の発見や気づきから更なる探究学習へ

「見つけたことを地図にしたいな!」



### 生活科指導案



「なかよしタイム」で絵本を読んでくれた地域の人のために〇〇したい!」目的意識・相手意識を明確にした探究を

## 体験入学(入学説明会等)



「小学校で遊んでみよう!」1校2園で合同ドッジボール教員も役割分担をして協働!

「ランドセルを背負ってみよう!」



「私も入学の時は心配だったよ。でも、大丈夫!みんなできるようになるからね!」新入生を迎える喜びを感じると共に、自分の成長も同時に実感!「2年生になって、みんなの入学を待っているよ!」